



借入金ゼロに向かって努力を続けてきた和牛肥育経営

～借入金が教えてくれたもの～

新潟県長岡市

田口 正一

家族写真：奥さん、後継者と一緒に



にいがた和牛4つの要件

- 1.黒毛和種の去勢牛又は、未經産牛であり血統が明確であるもの。
- 2.新潟県内で肥育され最長飼養地が新潟県内であるもの。
- 3.品質規格等級において「A」「B」3等級以上のもの。
- 4.家畜個体識別システムにより、生産から出荷までの移動履歴の確認ができるもの。

にいがた和牛 産地証明書

発行No. 74

生産地：新潟県 中之島町

生産者：田口正一

取引場所：新潟市食肉センター

と畜年月日：平成15年12月8日

個体識別番号：1138731040

性別・生年月日：去勢・平成13年6月27日

格付等級：A5

平成15年12月22日

にいがた和牛推進協議





水田に囲まれた牛舎



牛舎正面入口

飼養頭数の年次別推移

年次別	S45年	S46～ 50年	S51年	H元年	H10～ 12年
飼養頭数	10頭	30頭	50頭	70頭	90頭

S45年 肥育牛経営を開始する

S51年 近代化資金(1,200万円)融資を受けて牛舎・堆肥舎を建設して規模拡大する

H元年 牛肉輸入自由化を契機に飼養牛を黒毛和種肥育に統一する

H10年・12年 自己資金で牛舎・堆肥舎を増築し規模拡大して現在に至る

牛舎内部：古電柱を再利用した牛房



共同利用のトラクターとマニユアスプレッダ



ハイベータ



飼料作物作付面積と稲わら収集面積の推移

年 別	飼養頭数 (頭)	飼料作物面積(ha)		稲わら収集面積 (ha)	摘 要
		転作田	河川敷		
S 50	30	0.5		2.4	集落の転作で大豆を栽培
S 51	50	0.5		3.0	近代化資金等 1,224 万円の融資を受け牛舎を建設する。
S 55	50	2.0		4.0	中条転作組合から飼料栽培作業の委託を受ける。
H 元	70	4.0		8.0	飼養牛を牛肉の輸入自由化に伴い黒毛和種肥育に統一する。 水田を埋め立て自己資金で牛舎を建設し増頭する。 義兄と 2 人共同で飼料作物栽培・稲わら収集を行う。
H 6	70	8.0		10.0	2 戸共有でヘイペーラを購入する。
H 8	70	8.0	1.8	10.0	信濃川河川敷で牧草を作る。 2 戸共有でディスクモア・ヘイメーカーを購入する。
H 9	70	8.0	1.8	10.0	2 戸共有のトラクタを更新する。
H 10	90	8.0	1.8	10.0	自己資金で育成舎・格納庫を建設し増頭する。 (建設費 1 坪当り 6 万 8 千円)
H 12	90	8.0	1.8	10.0	自己資金で堆肥舎と牛舎を増築する。 (建設費 1 坪当り 7 万 4 千円)
H 15	90	8.0	1.8	10.0	4 戸共有でマニュアルプレッタを更新する。 二男が後継者として就農する。
H 16	90	11.0	1.8	8.0	秋の長雨で稲わら収集面積が減少した。
H 17	90	9.3	1.8	12.0	転作田 11ha のうち酪農家が 1.7ha に稲 WCS の調整収穫。 近隣農家の稲わらも収集する。

平成17年の粗飼料収獲状況

圃場 区分	作物名	実面積 (ha)	総収量 (風乾換算kg)	利用区分
転作田	白ヒエ	9.3	46,500	乾草
河川敷	オーチャードグラス	1.8	10,800	乾草
飼料作物合計		11.1	57,300	
水田	稲わら	10.0	40,000	

- 1 転作田は中条第二転作組合の転作田
- 2 河川敷は信濃川河川敷
- 3 水田は自作地と義兄の水田

白ヒエ収穫の様子

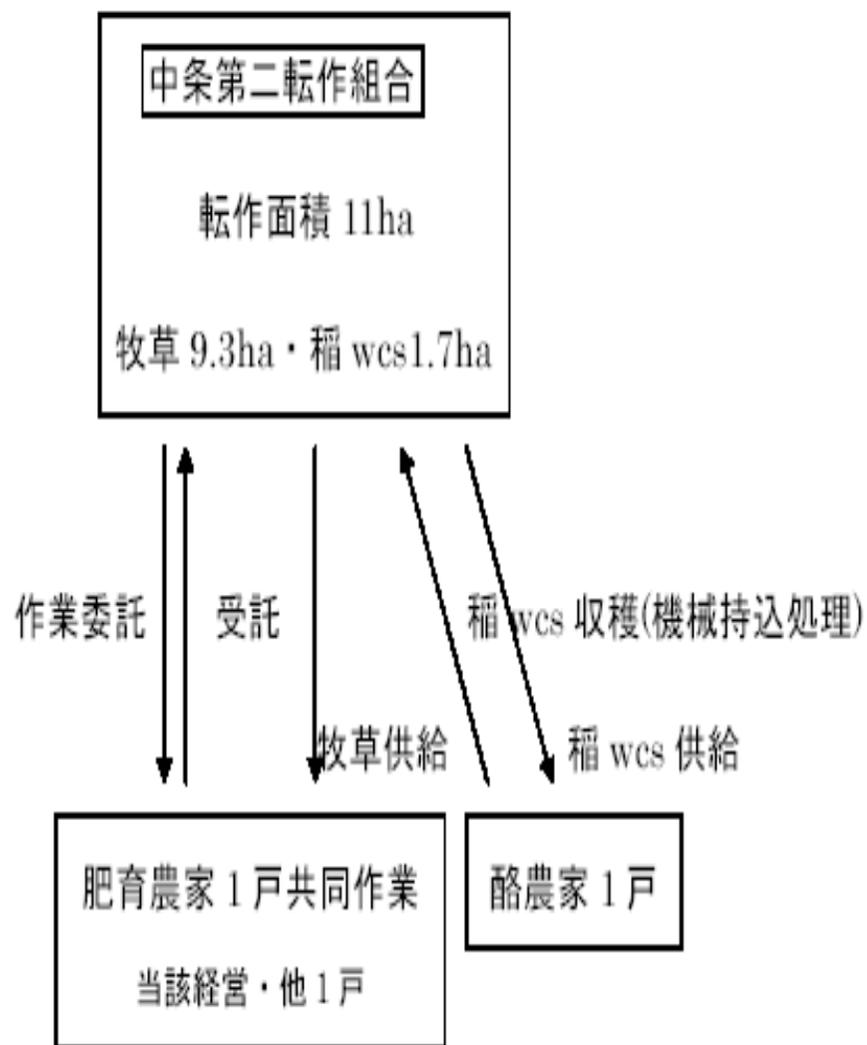


反転作業

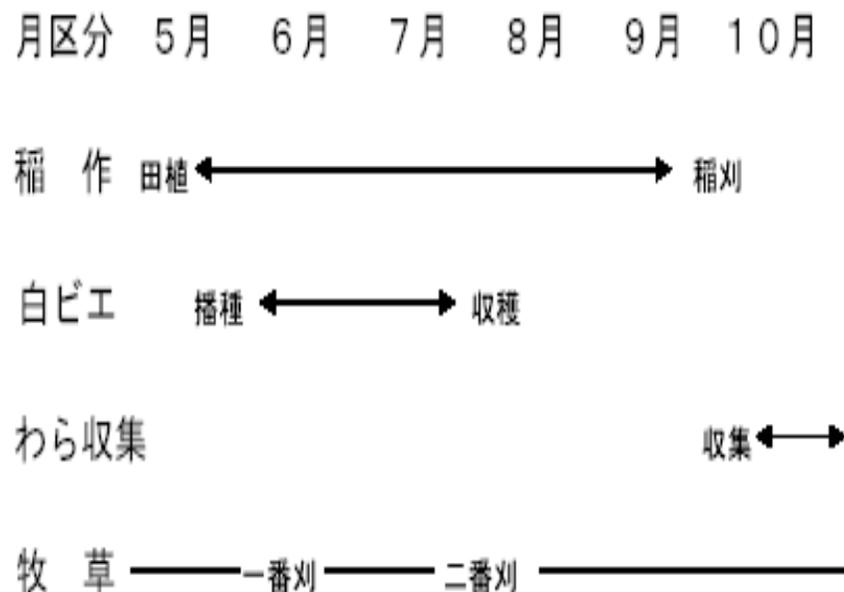
稲わら収集作業の様子 と保管状況



飼料作物栽培の組織図



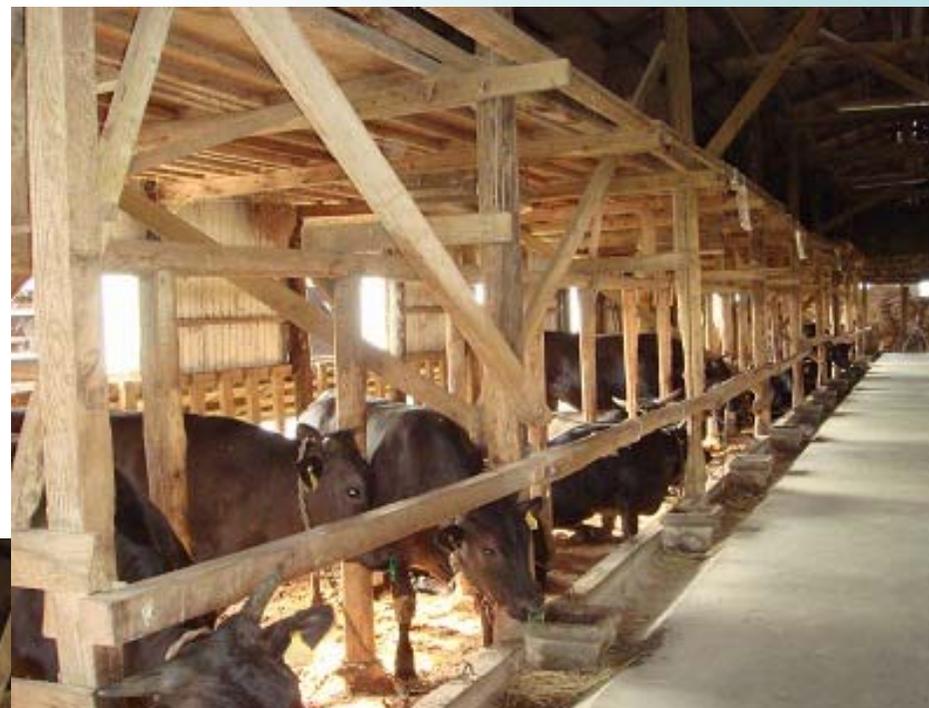
稲作と飼料作物栽培・収穫の作業区分



子牛市場で素牛を選定



個体管理牛房



飼料給与後の
見回り作業



牛舎入り口の消毒槽



使用後水洗いした器具の整頓



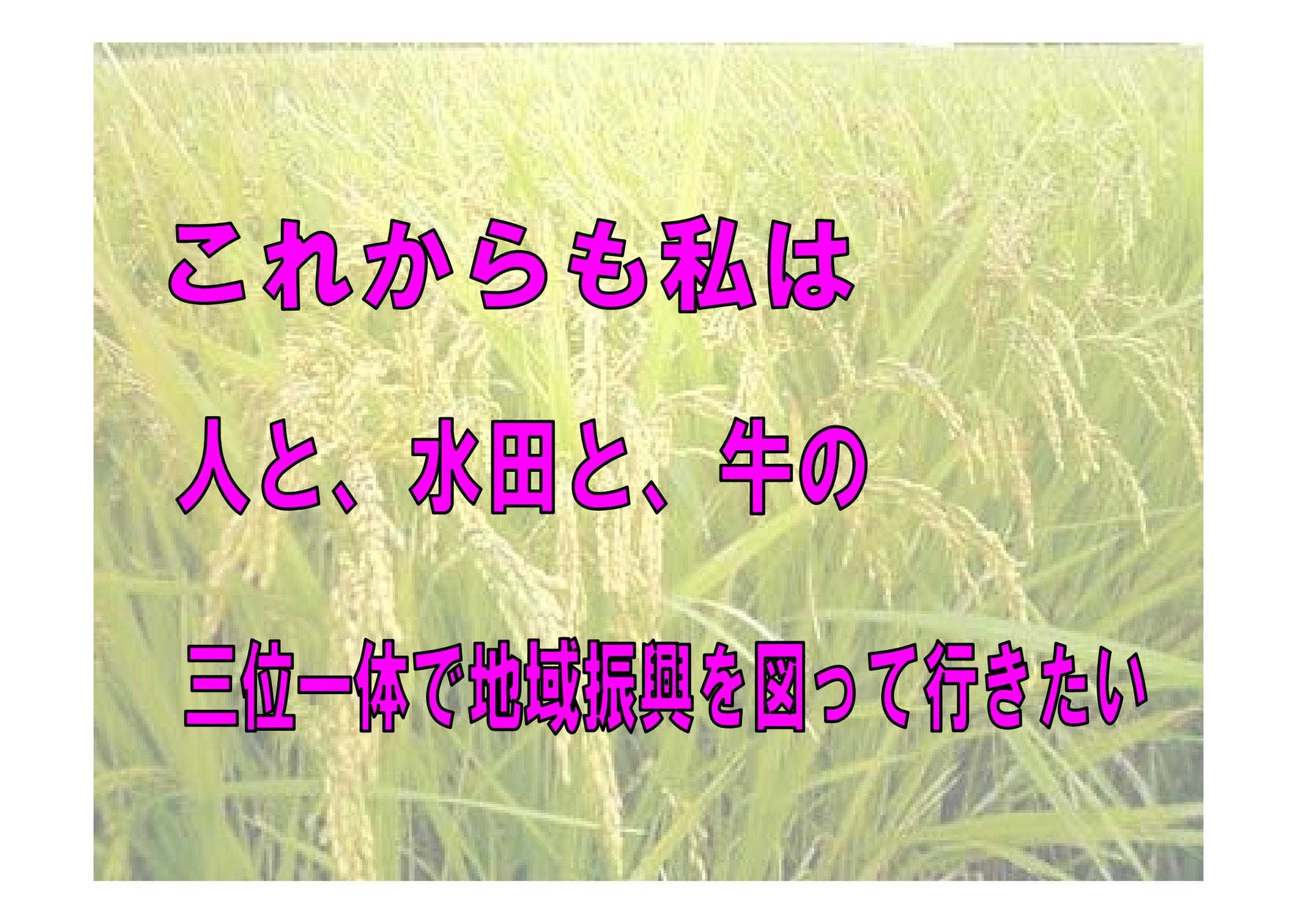
将来を担う後継者

枝肉の勉強



肥育名人認定式





これから私も私は

人と、水田と、牛の

三位一体で地域振興を図って行きたい